

税務課長の仕事宣言！ 進行管理表

税 務 課 長 青 木 博 美

①重点施策項目名	市税収納率の向上
②目標値	市税収納率 (現年度分) 99.2% 国保税収納率 (現年度分) 93.0%
③今年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・自主納税の啓発として、口座振替の推進、給与特別徴収の推進及び納税相談の実施 ・滞納整理強化として、財産調査及び差押等の財産処分強化、高額滞納案件に対する積極的な対応 ・滞納整理技術向上として、滞納整理指導員（国税庁OB）の活用、滞納整理事務関連研修への参加 ・国民健康保険税の収納率の向上 ・国保年金課との連携による国民健康保険加入者の資格確認の強化
④上半期の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・滞納整理を効率的に進めるため、初期滞納と高額滞納の担当分けにより、事務体制の充実を図りました。 ・高額滞納者について、預貯金、不動産等の財産調査を行い、差押えをするなど積極的な対応を行いました。 ・納付書等、郵便物が届かない被保険者について、市民課へ所在確認依頼を行い、資格の確認に努めました。
⑤下半期の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期の取組を継続し、特に高額滞納者の財産調査、差押等の対応を積極的に行いました。
⑥数値目標の結果	平成30年1月時点での徴収率 市税徴収率 (現年) 84.8% (前年同時期) 84.7% 国保税徴収率 (現年) 74.5% (前年同時期) 74.5%
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> ・方針通りの取組を実施しており、1月末の徴収率から目標を達成できるものとみています。

◇所管部長の指示

上半期

具体的な滞納整理への取組を実施している。更なる収納率の向上のため、下半期の対応と来年度の新たな取組など検討すること。

下半期

新たな取組を検討すること。国保税収納率の向上に努めること。

税務課長の仕事宣言！ 進行管理表

税務課長 青木博美

①重点施策項目名	固定資産税における土地の全筆調査
②目標値	—
③今年度の取組方針	<p>平成30年度の評価替えに向け、市内の土地全筆について評価が適正か確認を行い、必要に応じ評価を見直します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全域の土地の評価内容と利用状況を確認し、現地調査を行います。 ・主な確認事項 ー 画地状況、評価内容、路線状況、地目状況
④上半期の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本年撮影の航空写真を基に、市内全域にわたり、土地の利活用に伴う地目・用途の変更箇所の把握を行いました。 ・直近3カ年の路線の改廃・形状変更による影響について、不動産鑑定士と連絡調整を行いました。 ・県が公表した最新基準地価を基にした市内の地価動向、路線価については順次報告を受けており、システムへの入力作業を行っています。
⑤下半期の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の基本となる路線価を不動産鑑定士と協議の上決定し、システムへの入力作業を完了しました。 ・現地状況の調査や農転等届出状況等の確認により、地目、用途の特定と各種補正の適用評価を行いました。
⑥数値目標の結果	—
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、評価の個別確認を行っており、不動産鑑定士とも協議をしながら適正な評価に努めます。

◇所管部長の指示

上半期

税の公正公平性を基本として、適切な固定資産評価のための事業・施策に取り組んでいる。更なる充実に向け、職員研修等を含めた職員資質の向上の対応も検討すること。

下半期

固定資産の適切な把握と課税の公平性を持って、更なる取組を進めること